（明治四十一年十二月二十三日第三種郵物認可）　（日刊）月曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年十一月廿一日　（日曜日）第二百六十九號（一）

京城新報

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙（一枚金二錢▲一ケ月前金拾五錢▲三ケ月前金弐圓▲六ケ月前金壱圓▲郵税一ケ月十三錢）
廣告料金（五行十字詰一行一回金壱錢▲五十字詰一行一回金弐錢▲特別席告示五號活字十七字詰一行金七十五錢）
發行兼編輯人　高木久馬太郎
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

新案令の要點

韓國特許令、意匠令、商標令は昨年八月より施行せられたるも實用新案令は是等と同時に施行の運びに至らず去る十一月一日より始めて施行せらるゝ事となりたるもの多かるべく茲に大要を說明して參考に資すべし

日本に於て實用新案法の施行せられたる以明治三十八年の事にして其目的とする所は發明として特許法により保護する程度のものにもあらず又意匠法により保護すべき趣味美觀を主とする考案にもあらず一種の簡易なる案明にして實用上利便多き新奇の考案多くあり之を無保護に放任するは考案者の爲めに甚だ遺憾とする所にして又產業の進歩繁榮を計るの途にあらずとして一種の簡便なる保護法を設け此種の實用的の新案を保護するにあり由來年を經ること僅かに五年に滿すと雖日本特許局に於る最近の出願數は月に千餘件の多きを示せり韓國の如き各般の產業幼稚なる地方に於ては此種の考案保護の途を開くは產業促進の上に必らず稗益する所多かるべく韓國實用新案令の施行せらるゝに至りたるも此理由に外ならず然して韓國實用新案令は韓國特許令等と同じく昨年締結せられたる韓國に於ける工業所有權及著作權保護に關する日米條約に基くものなるを以て其適用を受くべき者の範圍は日本人韓國人及米人に限らるゝものと知るべし（未完）

地方通信

▲群山通信

▲群山全州間の道路開通以來運輸頗る繁を極め候昨今貨物運搬用として六十臺餘の牛馬車と旅客交通用に十八臺の馬車を見るに至り候從つて從來の人肩馬背によりし時は群山より全州邑內まで一人の旅客運賃荷駄及馬にて三圓乃至四圓貨物運賃二十貫に付一圓五十錢乃至二圓の高價を支拂ひしに車輦開通以來旅客運賃一人二圓四十錢貨物運賃二十貫に付七十錢內外にて輸送さるゝに至り候即ち旅客交通及ひ貨物輸送に至り大の便益を得る に得り候

▲次に羅浦より臨陂に通ずる新道路は同地の韓人有志等相計つて數地人夫等凡て寄附して目下工事着々進涉中に有之候故是又遠からず竣成の豫定に有之候（群山通信員）

▲新義州通信

▲最近の市況　當地の對岸なる安東縣に於ける各組にては既に安奉線工事請負の第一回取下金もあり旁市場は早く も活況を呈し來り候當地にても之が影響を受けて漸次景氣の恢復を見るは喜しき現象に有之候而して架橋工事の設計は人道を設くること相成候故竣工の曉は安義間の交通の利便は言よ迄もなく引いては經濟關係は益々密接に相成可申と存せられ候從つて新義州の繁榮の中心點は現在の場所より移動可致必ずこれが變動を見るや近きに可有之候當地方の機敏なる企業家は既に其要地の買占に腐心奔走を初め候尙聞く所に據れば今後最も重要なる地區は現市街より架橋點に至る間にして當地民團役所にても茲處に模範的市街を建設するやの計畫有之其附近一帶の地を公賣に附したるが既に各地方よりは實地踏査に來る者も不尠候（新義州通信員）

勅題「新年雪」和歌募集

選者　九阜館去留

何首にても隨意、用紙用筆類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日　本社編輯局

雜錄

○折にふれて

旭川

誰れやらの句に

夫病むで妻のもの買ふ霜夜哉

と云ふのがある、余は每に此の句を思ひ浮べては泣くが常也。

夫病ひ、人の妻としては既に一大痛心事也、況んや其の妻のものの買らざる可らざる迄に醫藥の料、炊爨の費に窮乏せりと云ふに於てをや、

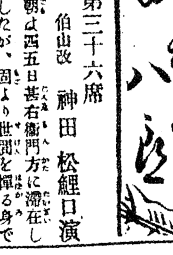
買るものは夫れ何んぞ、昔し爬はるゝ煎豆の類商ふか、何れにしても病める夫、飢ねに迫れる兒を養ふには開は餘り人相の惡るい男が物蔭からツカ〳〵ツと出て來て、乳母さん歸つたら之れを何をか謂げる、余が泣く即ち是故也。

又誰れやらの句に

盜人の妻病めりとや年の暮

貧しきは昔無きに劣ると古人は賞ひき彼れは夫の病ひが爲めに妻のものを買り、此れは妻病ひで人の垣を踰ゆ、斯の如きもの果して誰が罪ぞや、人其の人の罪なりと云はんも、幷は余りに冷酷ならずや、天の命のみと喝破し去らむか、そも又餘りに悠ならずや、世や廣ふして民や多し、斯の如き境に居る の民決して少からざるべし、加かも他は其の愚を嗤ふに急にして其情を憐れむに疎なり、其の罪を糺すに酷にして其救濟の途を講ずるもの微し、余。念此に在りて力足らず、思ふて而して徒らに泣くのみ。

第三十六席　伯山改　神田松鯉口演



さて爲朝は四五日甚右衛門方に滯在して居ましたが、固より世間を憚る身でありますから奥座敷深くへ通入つて表へも出ずに居ました、然るに御話は變つて甚右衛門の本家の三左衛門の家では、今日娘のれ美江に隣村の庄造の悴庄吉と云へるを婿に貰ひ婚禮と云ふので、村中の者を招いての大酒宴、甚右衛門夫婦も朝早くから手傳ひに參つて居る三「アノ御美江や　美「ハイれ父様何御用でございます　三「今日は貴樣の婚禮だから斯うやつて村中の方も手傳ひに來て下さるのに、何だつてれ前は考へて計り居るのだ、少しハキ〳〵してそろ〳〵れ化粧でも掛つたら宜からう　美「ハイ、種々と御心配を掛けまして誠に相濟みませんが實は困つたことが出來たのでございます　三「ウム困つたことが出來た、夫れは心配なわけだが、婚禮と云ふ朝になつて何樣なことが出來たのだ　美「實は昨夜乳母の菊尾を町まで使ひに出しましたら何だか人相の惡るい男が物蔭からツカ〳〵ツと出て來て、乳母さん歸つたら之れを渡したのでございます　三「ウム何だ其手紙は……　美「外でもございませんア蛇蛇の角造から寄越したのでございます　三「ナニ、蝮蛇の角造……　美「さうでございます、もう去年から始終妻に嫌らしい手紙を寄越すのでございますが、一度も返事を遣つたことはございません、所が昨晩の手紙で見ますると恐ろしい凄い文句が書いてありました　三「何う云ふ文句だ　美「聞けばれ前も愈々婚を取るさうだが、俺が彼の位言つて遣るのに少しも色好い返事をしたことがない、もう斯うなれば男い意地だ腕づくで明日婚禮の席へ乘込んでれ前を奪つてやるから大きい目を開いて待つて居ろと云ふのでございます　三「ウム、夫れは困つたことになつたな、惡い角造め、近頃都に戰爭があるので弓矢に掛けては日本一と稱はれる方だから、一つれ願ひして見やうか」と右衛門、甚「今鶏けは角造の野郎がれ美江に横戀慕をして、今夜押寄せて來るものと、彼奴はなか〳〵乾兒も多いことだから迂濶手出はならねわが、然し丁度好いことがある俺の家に九州の客人が四五日前から宿つて居るが、何でも弓の名人で、一度に五人十人を射殺すことは何でもないとのこと、まあ承知して呉れる呉れねが分らんけれども、ふと思出したるは爲朝のことだ、甚右衛門の心中では「彼の八郎殿は幼年のうちから剛勇、殊に弓矢に掛けては日本一と稱はれる方だから、一つれ願ひして見やうか」と

に必配して居たか、ふと思出したるは爲朝のことだ、甚右衛門の心中では「彼の八郎殿は幼年のうちから剛勇、殊に弓矢に掛けては日本一と稱はれる方だから、一つれ願ひして見やうか」と右衛門、甚「今鶏けは角造の野郎がれ美江に横戀慕をして、今夜押寄せて來るものと、彼奴はなか〳〵乾兒も多いことだから迂濶手出はならねわが、然し丁度好いことがある俺の家に九州の客人が四五日前から宿つて居るが、何でも弓の名人で、一度に五人十人を射殺すことは何でもないとのこと、まあ承知して呉れる呉れねが分らんけれども

廣告

世の多くの婦人は
子宮病の
治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從て治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で、服藥は厭だの、洗濯は面倒だ、さし藥は困ると病原を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲めに內服藥の必要なる病狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必要に服用藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である、津村順天堂の自宅治療法は、藥一萬能主義でなく數十種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが、外用藥中將球を使用すべき諸症を同病患者に告白す、幸ひに自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし、御詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舗津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將球は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ、子宮痙攣、子宮癰瘤、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、麻痺性子宮病等に特効あり、殊に良夫の癲癇に罹り居る時は癲毒菌の爲の心附かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ

●不妊症●流產
子宮內膜炎の分秘物及び酸性の粘液は精蟲を害し不妊症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ妊娠するも流產となる事多ければ中將球を使用して病根を斷つ事肝要なり

●中將球代價は、百二十個入五圓、四十五個入二圓、二十個入一圓、九個入五十錢、二十個入二十錢、又た中將湯代價は二圓五十錢、一圓六十錢、一圓十錢、六十錢、三十五錢、十錢等の各種なり

●本舗は東京日本橋通四丁目津村順天堂及び大阪大賣寺町堺筋南入津村順天堂支店にして販賣所は各地藥店にあり

廣告

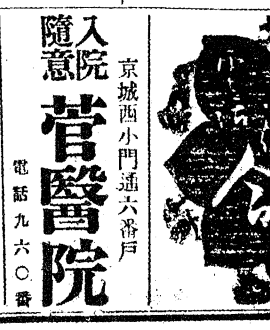
一つ花つて頼んで見てやらう　三「さうか、夫れは難有い、けれども角造の乾兒には大鰻の才造、猫父の吉之助、狐の三郎なんて剛の者も居るから、無暗に手を出して藪蛇になつても困るのだ　甚「まア何と言はしやるか、聽いて見やう、承知してさへ呉れれば草賊の五十人や百人打懲すことは造作もねゑた方なのだから……　三「さうか夫れでは一つた頼み申して呉れ　甚「ウム、兎に角れ頼みして見やう」とやがて其右衛門は我が家へ歸つて來て爲朝の前へ頭を下げて　甚「若樣宅めて御退屈でございませう　爲「隨分退屈で困る明日あたりはろ〳〵出立しやうと思ふのふ。

廣告

うば入用
待合春日
電話九七〇

謹告
禮部補　京城旭町三丁目　城山春吉
右は明治四十二年末皇大神宮大麻及び四十三年度暦本韓國各理事廳管下に於ける頒布擔任ぜしめ候條此段謹告候也
明治四十二年十一月日
神宮奉齋會韓國本部

統監府御用
宮內府御用
軸物、表裝、金銀屏風、額面、襖、壁張、天井張、雨戸、障子、硝子戸、其他表具、建具一式
表具建具　京城嘗町（電話一一八七番）　商石川辰次郎



井上商店
時代の要求せる人力車用木製車輪
廢式に比し約半量にて（自轉車型）
メリケン車輪に匹敵する堅牢と体裁とを兼ねる輕車輪なり乞ふ御試用あらん事
新案特許
既願
東京神田錦町一丁目（電本二三六一番）
製造元　井上商店

中村耳鼻咽喉眼科院
本町二丁目入院隨意
赤貧者施療
診療自午前九時至午后五時
毎月一日十五日休業

入院隨意
菅醫院
京城西小門通六番戶
電話九六〇番

公告
本月二十日第一銀行より業務の引繼を受け同月二十四日より本行諸般の業務を開始致候間此段公告候也
十一月十九日
韓國銀行

京城
廣江商會
電話五七六番

京城新報

不埒極る計劃

韓人の感覚建碑に就て

昨二十日の京城日報紙第一面に於て、麗々しく「日韓兩國皇帝陛下萬歲頌聖建碑部趣意書」と題し、先づ日韓兩國の唇齒輔車の關係なるを說き、我天皇陛下の大御心を韓國の事に致され、我統監を京城に駐めて指導せしめらるゝと同時に韓皇儲を東京に招いて訓迪せらるゝを頌し、去四日韓皇の發せられたる詔勅をも引き、終に「我皇上の聖意を仰體し何ぞ日本國天皇陛下の御聖德を讃誦せざるを得んや、然るに人情は久しければ衰ふるゆゑ今日紀念無ければ千百年の後日本國天皇陛下の盛大なる御聖德を忘れ易き也」と述べ我天皇陛下及び韓皇の御眞影を奉安し一片石を竪立し韓國民の徵誠のある所を表示せんと欲す、と結び、金閔南前大臣外十一名を連記しあるを見たり噫何ぞ無禮の甚だしくして不埒の其れ極まれるや。表面美言を弄して如何にも殊勝ぶに見するは、所謂韓人式なるものにして、今又た此の如きの擧を臆面もなく企つるは、韓人にありては敢て不思議にも無かるべきも、我國民にありては決して許し難きの事たり、彼の「人情は久しければ衰ふるゆゑ今日紀念無ければ千百年の後日本國皇帝陛下の盛大なる御聖德を忘れ易き也」とは抑々何の意味ぞ。彼は此の巧みなる言辭を弄して、我國民の藤公遭難に際して凝固せしめたる憤怒惡感を是れ融釋せしめんと目論見、我天皇陛下を撓ぎ來れるものにはあらずや、言を換へて云へば我天皇陛下を惑出汁に使つて我國民を慰めんと欲せるものなり。嗚呼是れ何等の不埒ぞ、何等の無禮ぞ。彼れ韓國民は、韓人の手によつて藤公を殺し、少らず我國民の感情を害したるを憂ひ、如何にもして此れが融和を爲さんと試み、右願左眄殆ど其の爲すべき所を失ひ、遂に此の如きの愚擧を敢てするに至り、一見憐憫に値するが如きも、巧言令色是れ事とし、平身低頭如何にも悔ゆるが如く悲しむが如く訴ふるが如く又た憐れみを請ふもの、如き態度を示すは、韓人の最も得意とする所にして、今回の此擧の如きも決して衷心より湧出したるものには非ざるは云ふ迄もなく、重ね〳〵大なる侮辱を我に致すとは、惡みても又た惡みしき振舞ならずや。

我國民は不埒千万なる此愚擧に對して必ずや憤怒の念を一層增するべし、我統監府は果して之に對して如何なる措置を執らんとかする、統監府も亦た

昨日此廣告を見て驚き且つ憤りたることなるべく、金輩は頗る不埒の此の企てに向て必ずや禁止の鐵命の速く發せらるべきを信じ疑はざる也。

東京電報

▲桂侯と西下日程　桂首相は來る卅日東京出發先づ伊勢大廟に參拜したる上十二月一日夜大阪に到着し二日造幣局に貨幣試驗に臨み三日大阪經濟會の招待會に臨席附政方針に就き演說を爲す等廿日發)

▲岩倉と輔育總裁　岩倉公使は掌典長を兼ね宮中府中の政務多端なる折柄輔育總裁の任に當らしむるは困難なるを以て遠からず輔育總裁には他に適任者を選ばるべしと傳へらる(同上)

▲商法改正案脫稿　法律取調委員會にて目下起草中なる商法改正案は本月中脫稿し主査會にて整理の上來月十日法制局に回付の筈也(大藏)

▲鹽田の一大整理　大藏省專賣局は全國鹽田の一大整理を企劃し收獲少き惡田を買收し之に代ゆるに關東鹽及臺灣鹽の輸入を大ならしめ以て鹽價を引上げ鹽專賣の基礎を鞏固にせんとの計畫を立て右法案を今期議會に提出すべし(同上)

▲九州幹線の全通　九州縱貫線人吉、吉松間鐵道運輸明廿一日より開業す(同上)

▲陛下の御見賜金　天皇陛下には旅順白玉山表忠塔建設費として金五千圓を下賜相成たり(同上)

▲毋國陛下の行啓　皇后陛下は本日の上野漆工競技會へ行啓あらせられ種々御買上品あり(同上)

▲鹿兒島線開通式　本日鹿兒島人吉間鐵道開通式を擧行す朝野の紳士數萬人參列し無前の盛況を呈したり(同上)

▲兇變實狀の寫眞　伊藤公が哈爾賓に於て悲慘の最後を遂げられたる活動寫眞は當時枕を同地の一露人が着驛の光景を撮影せんとて待構へ居りたる折柄同列車が哈爾賓に着し露國殿相との會見模樣、兇漢安重根が躍出し七連發の短銃にて伊藤公を狙撃する光景其他古谷秘書官等の周章狼狽する實況、公が列車に運ばるゝ迄精密なる光景を撮影したるものにて絶大の珍品として各國同業者の買收競爭激烈なりしが今回ジャパンプレス、エゼンシー賴母木氏の手に一萬五千圓にて買取せられたる而して同寫眞は來月十日東京に到着すべし(同上)

吉田

本町五丁目三一館判斷

十一月廿一日就き九日四條赤口乙酉(△一白)(△一白)(△一白)

無害ノ煙草ヲ御照會致シマス

EDP金口莫

直輸入商 卸賣 小賣

日希商會

主任メニヤス

電話二二二番

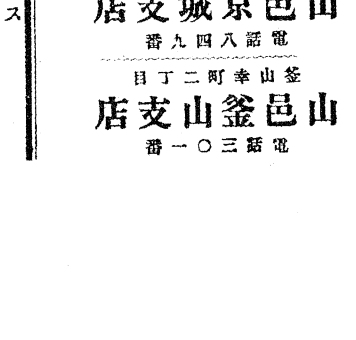
用命仰付被下度奉願候

洋金口黃葉卷パイプ

不抱多少御

乞御愛用

清酒櫻魂は弊店發賣の有名なる櫻正宗と同一醸法に係り品質の醇良にして而も價格の低廉なる他に其比を見ず



京城南山町四丁目

山邑京城支店

電話八四九番

釜山幸町二丁目

山邑釜山支店

電話三〇一番

元巡査の惡手段

△後家を騙して金員を捲上ぐ

今夏京城全市に惡疫流行して酷しく猖獗を極め其筋にては之れが撲滅豫防策に腐心したる結果遂に各所に臨時防疫事務所を增設し之れが應援として臨時巡査五十人を採用したるが茲に山口順蔵（三）といへる無分別なる男ありて内地を喰詰めて先年渡韓し當地に來り相變らず放浪生活を續け居たるが當時既に所持金は悉皆費消して錢一文の蓄ひもなく何かなる良き仕事にありつかんと毎日縞の目鷹の眼で捜し廻るも雖も元より素養とてもなく亦先輩の推薦や紹介もあらねば一向に職に就く事を得ず徒らに閑居して不善ぬ行爲のみ是れ事と爲し居たる折柄虎疫流行に際し警視廳臨時巡査の採用に應募して先づ試驗だけは怎やら怎やら合格して西部警察署有勤を命ぜられ青坡派出所詰となりしを同人は鬼の首の手を取つた樣な氣になり早くも病にもなき役人風を吹かして非番の時は公然受持管内の料理店茶屋貸屋に出入して巡査を笠に着て常に無錢飲食をなし或時は比較的別嬪の居る淫奔屋に至りて公務上取調べの件ありて出張したりとて強いて酒食の饗應を受け剩へ年若き抱酌婦を殆んど強姦同樣に辱めて横暴至らざるなく巢が赴任後未だ幾旬ならずして管内の良民は巢の行爲の苟くも人民保護の官吏としてあるまじきに大に憤慨して西部署長鈴木警視に連署して如上の始末を具し逃して良巡査の交迭を促し且つ請願するに至りたるを奸智に長けたる巢山口は早くも此間の消息を看破し何は己れの職務を臨時任用に依り虎疫終熄と共に何時解職せらるゝも計り難きを曉り茲に例の惡辣手段を極度に發揮して恰かも巢が解職十日位前に管内の村岡さんなる者の質商を開業すると仕其開業準備手續等萬事を青坡派出所に出張して山口巡査に問合せたるを巢は奇貨措く可しと思ひ親切ごかしに騙し込み無理無体に情を通じ尚金五十圓を借りて益々奸手段を弄せんとする内巢い素行は早くも西部署長の耳に入り虎疫終熄と共に直ちに免職となりたれば山口は永居は惡事露顯の恐れありと其儘雲隱れして居住不明となりしを前記サヨが派出所に山口巡査の委見ぬるを怪みて或は他に轉勤せしにはあらずかと一昨日西部署に出頭して聞きたるに同人は既に免職せられ目下の住所さへ不明なりとの事に大に驚き悄然として引下りたるが其後山口は猶を懲つて濁城府の屋員が拜命し何も知らぬ顔で毎日出勤して居るが去りとは不埒千萬の屋員殿と云ふ可し

淫奔娘の身の成る果

▲情夫は病の床に臥す

▲樂餌の料に酌婦志願

釣瓶落しとは秋の日の暮るゝに間なき頃なり龍山老松町の附近なる口入屋の前に立てる眉目美はしき妙齢の婦人あり入らんとしては躊躇ひつ又去りもあり得ず狀なりしが遽て思ひきりしとやらに口内に入り程なく悄然として立去るを見し人の理由は知らねど唯何と無う憐れに感じつゝ其が身の上を探り見しに女は中國某地に聞へたる酒造家の愛娘にて今年十八の盛りの花容稀れなる美人なるのみか心温順に讀み書きの業さへ拙からず子持てる親の美望の的となれるにつけ其が現なき玉の疵だに厭ふ兩親の心を知らざるにあらねども月にも花にも感じ易き早乙女の戀に朽ちなん名を惜まで或青年と深くも契りしが此事何時か兩親の耳に入りさなきだに逢瀬まゝならぬ交情を堰かれしかば今年の春若き男女は謀り合せて郷里を落ち渡韓して龍山砂村里の邊に忍び居しが去頃より男は病に罹り起居も自由ならぬ身となりしより入費嵩に潰伏し翌三十日の夜に至り金羅北道茂朱郡新鹽方面基石里に逃走し再來郡内に出没して討伐隊の行動を探り居たるものなりとか

我が韓國の義兵

▲軍資金の調達を迫る

去る十一日末明黄海道海州郡檢丹面湯地洞鄭乃俊方に賊八名侵入せしが三名は洋銃四名は韓銃を何れも携へたれど主人不在なれば其儘立去り同面回仁村李德明方に侵入し同人を毆打し我々は大韓國の義兵なり武器購入の軍資金必要に付千五百圓を調達し置く可し若し命を背かば家を燒き骨を斬殺すと脅迫し引續き柳應七方に押入り前同樣のことを云ふて脅迫し何處ともなく踪跡を晦ませしが斯と急報に接したる載寧憲兵分遣所より憲兵直ちに出張取調べたる所によれば賊は他地方より入込みたるものゝ如し

燒討暴徒の逮捕

▲伊院停車場燒討の一人

去る九日太田憲兵分遣所に逮捕せられたる一賊あり該賊は去月二十九日伊院停車場を襲ひたる暴徒に加はりたる者なる事判明せしが本人の自白によれば同停車場を襲ひたる賊は首魁文大西の指揮により砲大將と稱する金成允外四名にして同夜は南方に逃走し山中に潜伏し翌三十日の夜に至り金羅北道茂朱郡新鹽方面基石里に逃走し再來郡内に出没して討伐隊の行動を探り居たるものなりとか

八重山鹿島の遁亡

▲龍山に於て取押らる

仁川日本公園内八坂樓の抱妓なる廣島市小網町生れの藝名鹿島事寺尾チヨ（二）及び松山市生れの藝名八重山事高山シゲ（二）の兩名は何の不服のありたるものか一昨日午後六時頃同樓を窃かに抜け出でゝドロンを極め込みたるより樓主は此の不氣味な時に玉を逃がして何となく樓内上を下への大騒ぎを爲し諸所方々に人を跳せて搜し求ひれ共何の手掛りだになきより午後十時頃其旨宮町派出所に訴出たるが精探の結果同夜午後八時十三分柏覗驛發列車にて龍山に赴きたる形跡あるに依て直に龍山警に取押へ方を賴みたる處其夜同地料理店大黑樓の姉の許に潜伏し居たるを拿捕し目下同航員の到着を待つつゝある旨報じたるより樓主はヤッと胸撫で下したりとか

大學財務署に迫る

▲五百餘名の請願者

忠清南道鴻山財務署に約五百名の韓民押寄せ隱結調査の不公平を鳴し請願する所あらんとし鴻山分遣所より憲兵現場に出張し巡査と協力是を鎮め其の狀況の不穩なるを說き相當の代表者を出して請願すべき旨懇諭して解散せしめたるが何れも其言に服し不日代表者を撰び請願すべしと其儘引取りたる由一時は韓民の事とて喧囂を極めたりと云ふ

韓國の集會說教

●本日の集會說教

京城基督教會は午前九時日曜學校同十時來津敬師の「夜叉の消息」午後七時半同敬師の「基督の神觀」あり

▲日本メソヂスト教會にては傳道局長酒香の注文をなし鰒腹飲食店松葉亭に揚り込み浦等を巡回中の處昨日歸京せしかば本基督教會見午前八時半より日曜學校同十時より石原敬師の「信仰の修養」午後八時より同敬師の「基督の神觀」あり

▲京城日本人心の憧憬」の說教演說あり

▲日本メソヂスト教會にては傳道局長岩恒保氏義に傳道の爲め平壤、鎮南浦等を巡回中の處昨日歸京せしかば本日教會に於て禮拜說教ある筈なり

一文なしの大盡

●一文なしの大盡

百二番戸左官職大山龜松（ロ）龍山祝町十七番戸左官職山本庄太郎（ニ）同人方居留左官職尾瀬庫二（ホ）の三人は一昨夜八時頃旭町飲食店松葉亭に揚り込み酒肴の注文をなし鰒腹飲食の結果六圓卅二錢の勘定に錢一文も支拂はず遂に南部署の厄介となつて事濟み

渡日旅客へ注意

●渡日旅客へ注意

從來下關停車場構内に於て日韓連絡客の便を圖り第一銀行員派出の上貨幣の交換を爲し居りしも本日より廢止の越に付き編今日本旅客は出發前に交換し置くか又は釜山停車場内第一銀行派出所に於て交換せらるゝを肝要とす云ふ

憲兵賊を走らす

●憲兵賊を走らす

沃山分遣所上等兵一名補助員二名は彼州郡廣灘面榮里に於て賊魁張某の率ふる十二名と衝突し交戰約四十分に渉り數名を傷けしが賊は山中に逃げ込み時恰も日沒の頃とて迄ひに行衛を失ひたりと

壽座の想夫憐

●壽座の想夫憐

羅井伊東合同劇に十八日を以て打揚げの筈なりしを都合に依り來る廿三日迄延期したり尚ほ藝題は毎日替りにして今廿一日の替りは目下大坂中座に於て高田以下の大合同團に依つて開演中の「想夫憐」にして殊に藤井の中野清助は前四十一錢何厘の御馳走とは呆れるね（桃●の木）▲此程京城櫻井町の海山樓前に開店したる料亭濱の家では美味い物を安く賣るから評判が宜しい（鼎負客）▲本庄曲閣と云ふ女が又京城へ舞ひ込んでる樣で、ね（饒舌生）▲父の名を思はぬ程に差引いて慾しい方が勝つてると思ひますね（自稱粹史）▲先日の官民秋季大懇親會の收支決算に依ると收入金九百廿八圓で懇親會費が百圓新聞廣告料が四十圓料理店への補助が三百五十圓計四百九十圓で殘りの四百三十八圓は、二百三十九名の會員を有する懇親會費が百圓と云ふのも判らぬ話だ一人當り四圓と云ふ外はない好劇家）▲明治町の娼妓七十九名に對し一昨日定期檢梅を行ひたるに引續入院四名自宅休業二名洗濯を要するもの七名ありしと云ふ

●遊廓だより

一昨夜新町遊廓の嫖客は八十人散財高三百九十三圓九十六錢

●川の定期檢梅

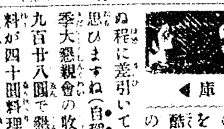
仁川貌島遊廓の娼妓七十九名に對し一昨日定期檢梅を行ひたるに引續入院四名自宅休業二名洗濯を要するもの七名ありしと云ふ

●新町の健康診斷

一昨日新町遊廓の診斷所に於て娼妓の健康診斷を行ひたるに機關部故障の爲め九名の入院者を出し受診總計百九十八人の内健康者は百六十三人なりしと云ふ

●川の定期檢梅

仁川貌島遊廓の娼妓七十九名に對し一昨日定期檢梅を行ひたるに引續入院四名自宅休業二名洗濯を要するもの七名ありしと云ふ



◀平民文庫▶

▲秋晴れや青竹を割る節の音（不退）▲二十四乘生に申す御投稿都合により掲載を見合せ申候（係）▲槐翠の文之助君は伊藤公の薨去に依りて大に名聲を擧げた併し老妓はチト酷だ三十にもならないものを、だが其の不平も出ぬ樣だ（桃●の木）▲此程京城櫻井町の海山樓前に開店したる料亭濱の家では美味い物を安く賣るから評判が宜しい（鼎負客）▲本庄曲閣と云ふ女が又京城へ舞ひ込んでる樣で、ね（饒舌生）▲父の名を思はぬ程に差引いて慾しい方が勝つてると思ひますね（自稱粹史）▲先日の官民秋季大懇親會の收支決算に依ると收入金九百廿八圓で懇親會費が百圓新聞廣告料が四十圓料理店への補助が三百五十圓計四百九十圓で殘りの四百三十八圓は、二百三十九名の會員を有する懇親會費が百圓と云ふのも判らぬ話だ一人當り四圓と云ふ外はない好劇家）▲明治町の娼妓七十九名に對し一昨日定期檢梅を行ひたるに引續入院四名自宅休業二名洗濯を要するもの七名ありしと云ふ

●天氣豫報（自二十日午後六時至廿一日午後六時）

西の風晴

最低溫度　五〇、九
最高溫度　二三、五

（華氏）

十九日（華氏）

廣告

自轉車大安賣

角商會代理店橫前川自轉車店
京城南大門橫

手選特等白米現金値段
一斗入六圓五十錢
同一升に付十三錢五厘
甘貫餘方

御買は特に御相談申上候
京城本町一丁目（電話六三二番）
今村商店

味の素

味の素和洋料理は勿論一般の家庭料として日常欠可らざるもの調味料節や鰹昆布の樣に色々面倒な手數も入らず誰れにでも即座に用ひ得らるし調法及經濟的調味品であります

定價一瓶二三十五錢
他地方は引換小包にて送ります

韓國特約店
京城辻屋
電話二四八番

京城南治町一丁目
醫學士　佐佐木醫院
佐佐木四方志
（電話八一二番）

萬人欽仰の偉人傳!!　完全なる伊藤公傳!!

侯爵井上馨　伯爵大隈重信　翰長蘇峰　侯爵大山巖　元帥侯爵桂太郎　高崎男爵　高瀬火海著

謹詞　山縣公爵　歌詞　高崎男爵

◎製本既成

株式會社第一銀行京城支店
電話一一番　六二番

移轉廣告

今般營業所を當地南山町三丁目（巴城館向側）に移轉し從來の通り銀行一般の業務を取扱申候

移轉廣告

梅毒患者の福音

●殊に梅毒三期患者に對して本院獨特の驚嘆療法を行ひ如何なる難症と雖も二週間以内に全治せしむ

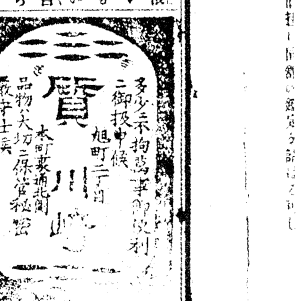
梅毒病科

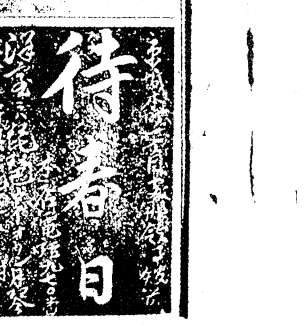
内外科小兒科

戸田病院

電話九三八

京城南大門外通り御成町





金壽伊藤博文

口繪統監正裝　嚴父及世堂　絶筆　印譜　書簡　滄浪閣　少年及青年時代　公と山縣公　夫人令孃　靈南坂官邸等計廿七個

公の事歴は萬人の等しく知らんと欲する所也。然れ共未だ完全なる詳傳無きを以て天下之を遺憾とす。本書は韓國某大官の委囑に依て草せしもの公の薨去に際し更に修正增補し聊か敬吊の意を表せんが爲め特價を以て江湖に頒つ明治中興の功名たる公の英靈に對して我國民は必ず一本を備へざるべからず

▼菊判四百餘頁▲製本高尚特別製本金貳圓◎上製金壹圓定價金十錢

發行所　東京神田駿河臺文明堂　賣捌　東京堂民友社文榮閣北隆館東海堂武藏屋其他

龍山元町四丁目二十八番戸
丸濱洋服店

歐米新式
高等裁縫
弊店は廉價と叮嚀を旨とし精々勉强仕候

各種洗濯石鹸 専門製造販賣 陸軍、鐵道、船舶、水道、山、水道場、散場、その他用
京城旭町二丁目 (電話九二〇番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求炊 女 年四十格好のもの至急入用 本町一丁目官舎 桐原

●店員入用 十六七歳にて確実なる保證人有者 龍山京町右田米店 四八〇

●下婢入用 十四五歳の下婢を求む條件必用なる教育を施す氏名在社 四七九

●求職 年廿六孤記に經驗あるもの至急職に就きたし 氏名在社(四八二)

●ボーイ入用 十五歳以上廿歳以下數名入用 南山町三 京城ホテル

●彼屋たし 年三十五普通教育あるも二彼屋の鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社(四八三)

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と廻縁二階六疊二間廻縁井戸物置湯取付家賃面會 氏名在社(四七八)

●貸家 北都青洞廿九統四に安價の貸家數間あり御希望の方は同所の内屋に就き問合せあれ

物件部

●貸家本町通り目抜の場所にて貸家あり希望者は來談あれ氏名在社 四七〇

●彼屋度 年三十三才貨物取扱及稅關手續に經驗あり英語を解す商店又は會社たし 氏名在社(四八五)

廣告

陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業 龍山老松町 磯口商店 電話一一九番

歐米新式 高等裁縫 龍山榮町 田口洋服店 電話三一二番

龍山若松町 島崎鐵工場 電話四四一番

龍山元町二丁目 長尾醫院 院長 醫學得業士 長尾乙二

龍山元町二丁目 佐藤病院 電話一〇三番

京城本町一丁目憲兵分遣所前 眼科專門 江頭眼科醫院 (電話三三) 前滿鐵病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

表具 松月堂 古今美術 書畫表裝 金銀屏風 洋式天井張 壽町二丁目

宮内府御用 博物館 古今美術 書畫表裝 金銀屏風 洋式天井張 壽町二丁目

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗 電話三五四番 京城明治町二丁目(佛國教會前)

美術書畫 襖、壁、天井張 京城壽町一丁目 桂萬吉

伊藤公爵家寫眞係小川一眞撮影 故伊藤公爵葬儀係認可

伊藤公國葬寫眞帖

定價 全一冊金壹圓五十錢也送料八錢

故公最近大肖像 原カーボンダルドーン刷 ○靈柩横須賀上陸光景數圖○同新橋停車場より官邸に至る行粧數圖○同沿道雜踏光景數圖○葬儀行粧及沿道光景十數圖○大山東郷諸元帥徒歩光景○國葬式場全景○元老大臣各國大使公使未亡人遺族其他文武百官參拜光景十數圖○大井村埋葬光景數圖等大判約五十頁

蓋し伊藤家累代の記念の爲に撮影を命せられたるものなるも公の如きは一家の私すべきに非ず國民の以て記念とせざるべからざるもの強て請ふて江湖に頒つ苟も國民たるもの速かに一本を具へて故偉人を偲ばざるべけんや

内容要目

發行所 東京新橋日吉町 韓國特約大販賣 京城明治町一ノ四九 前島商店 小川寫眞製判所

追而本帖は故偉人を偲はれて非常に申込者多く來る二十日より御申込順に依り配付可致候間此際至急御申込の程奉希望候敬具

季節と勉強

最も御經濟なる出來合品

各種洋服 フロックコート
インバネス 婦人コート
鳶形引廻し オーバコート
改良小供防寒衣 絨製厚司

右各種多數荷揃致し候に付此際一層勉強致べく候間多少に拘はらず御買上之程願上候

尚地方の御注文は豫め寸法御指圖御申越被下候はゞ際店取計ひ引換小包に送付致候

京城本町三丁目 田中洋服店 (電話九九三番)

明治廿年七月創立 資本金一千萬圓 京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番 京城本町一ノ三 電話一〇六〇番 事務所 京城本町一ノ三 電話一〇六〇番

大阪商船三井運送株式會社

廣告

廣告

廣告